

ご使用方法

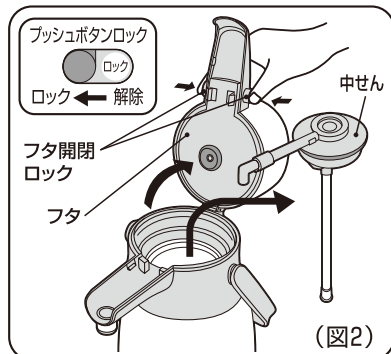
ご使用前に中せん、本体内側を十分に洗ってください。

飲みものを入れる

① フタを開ける

フタ開閉ロックを押しながら、フタを開けます。(プッシュボタンロックが“ロック”の位置にセットされていることを確認してください。)

【☞図2】



② 中せんをはずす

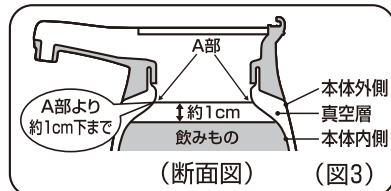
【☞図2】

③ 飲みものを入れる

飲みものの量は図の位置までにごください。入れすぎると、中せんを取り付けたときに飲みものがあふれ出る原因になります。【☞図3】



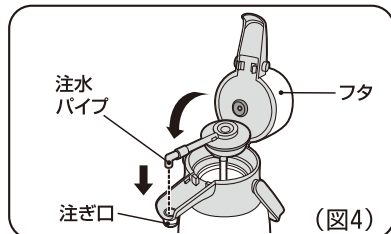
本体に少量の熱湯(冷水)を入れ、1分程度予熱(予冷)すると保温(保冷)に効果的です。



④ 中せんを取り付け、フタを閉める

中せんは注水パイプと注ぎ口の位置を合わせて取り付けてください。

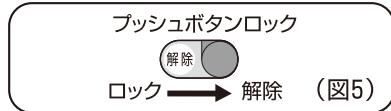
フタは“カチッ”と音がするまで確実に押して閉めてください。【☞図4】



飲みものを注ぐ

① プッシュボタンロックを“解除”にセットする

【☞図5】



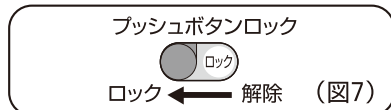
② プッシュボタンを押す

容器を注ぎ口に近づけ、プッシュボタン中央を押します。【☞図6】



③ 注ぎ終わったら、プッシュボタンロックを“ロック”の位置に戻す

【☞図7】



フタの取りはずし方・取り付け方

取りはずす

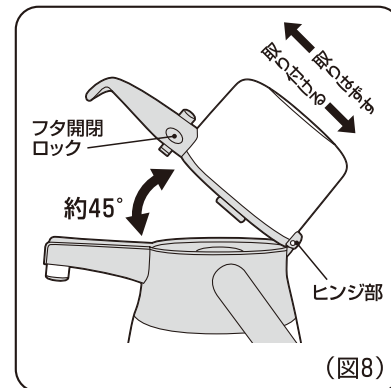
① フタ開閉ロックを押しながら、フタを約45°開けて、そのまま前方に引き上げます。

【☞図8】

取り付ける

フタをヒンジ部に合わせて差し込みます。

【☞図8】



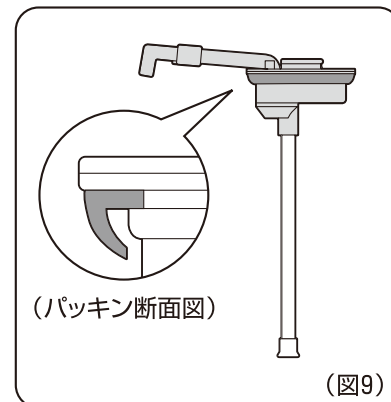
中せんパッキンの取り付け方

取り付けた後は、フタがしっかり閉まることを確認してください。

図の位置に全周にわたってはめ込みます。

取り付けた後は、指でまんべんなく押さえ、浮きがないことを確認してください。【☞図9】

*正しく取り付けられていないと、飲みものが出ないことがあります。





安全上のご注意



ご使用前によくお読みの上、必ずお守りください。

表示マークの意味について

■製品を正しくお使いいただくために、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を以下の表示で区分しています。

 警告	死亡、または重傷を負う恐れがある内容を示しています。
 注意	軽傷、または物的損害を負う恐れがある内容を示しています。

■図記号について

 禁止	してはいけない内容(禁止)を表しています。
 必ずおこなう	必ずお守りいただく内容を表しています。

警告

乳幼児の手の届くところには置かないでください。
また、いたずらには十分に注意してください。

*やけどやけがの原因になります。



 禁止

注意

フタを持って運ばないでください。
*フタがはずれ、やけどやけがの原因になります。
必ずハンドルを持って運んでください。



 禁止

本体は横転させないでください。
*飲みものが漏れ、やけどや他のものを汚す原因になります。



 禁止

飲みものの保温・保冷以外に使用しないでください。
*さびや漏れなど故障の原因になります。

 禁止

中せんとフタは確実に取り付けてご使用ください。
*飲みものが出なくなる原因になります。

 必ずおこなう

注意

ストーブやコンロなどの火気に近づけないでください。

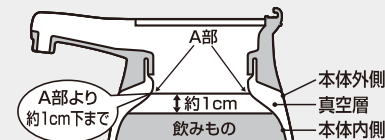
*やけどや変形や変色の原因になります。



 禁止

飲みものの量は図の位置までにしてください。

*入れすぎると、中せんを取り付けたときに、飲みものがあふれ出る原因になります。



(断面図)  必ずおこなう

プッシュボタンは勢いよく押さないでください。

*飲みものの残量が少ないと、注ぎ口から飲みものが飛び散ることがあります。

 禁止

フタや本体の丸洗いはしないでください。

*すきまに水が浸入して、後から漏れて他のものを汚したり、さびて保温・保冷不良の原因になります。

 禁止

中せんは煮沸しないでください。

*変形し、漏れなどの原因になります。

 禁止

食器洗浄機・食器乾燥機は使用しないでください。

*プラスチック部品が変形することがあります。

 禁止

次のものは絶対に入れないでください。

- ドライアイス、炭酸飲料
(炭酸ガスの圧力で飲みものが吹き出ることがあります。)
- みそ汁など塩分を含んだもの
(本体内側は18-8ステンレスを使用していますが、さびることがあります。)
- 牛乳、乳飲料、果汁など成分が腐敗しやすいもの
- お茶の葉、果肉、糖分を含んだもの
(すきまなどにつまり、飲みものが出なくなる原因になります。)



 禁止

改造、分解、修理は絶対にしないでください。

*故障、事故の原因になります。
(修理はお買い上げの販売店、またはお客様相談室にご相談ください。)【P.10】



 禁止

⚠ 注意

落とす、ぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。

*変形・破損して、漏れや保温・保冷不良などの原因になります。

⊘ 禁止

本体の口元に熱いやカンなどをあてないでください。

*転倒して飲みものがこぼれ、やけどや他のものを汚す原因になります。

また傷や変形の原因になります。

⊘ 禁止

お茶、コーヒーをご使用後は必ずお手入れをしてください。

*飲みものが出なくなる原因になります。

《お手入れ方法》

本体内部に水(お湯)を入れ、揚水パイプを取り付けた状態でプッシュボタンを繰り返し押し、水(お湯)を出してください。

❗ 必ずおこなう

飲みものを捨てる時は必ずフタと中せんを取りはずし、注ぎ口を横に向けて捨ててください。

*注ぎ口が下に向いていると、注ぎ口から飲みものが出てくることがあり、やけどや他のものを汚す原因になります。

❗ 必ずおこなう

不安定な場所に置かないでください。

*転倒して飲みものがこぼれ、やけどや他のものを汚す原因になります。

また使用中は倒さないようにご注意ください。

⊘ 禁止

使用上のご注意とお願い

シンナー、ベンジン、金属タワシ、みがき粉、クレンザーは使用しないでください。

*傷やさびなどの原因になります。

⊘ 禁止

塩素系漂白剤は使用しないでください。

*さびや保温・保冷不良などの原因になります。

⊘ 禁止


お茶を保温・保冷すると、色や風味が変わることがあります。これはお茶の成分が時間とともに変化するためのもので、人体に害はありません。お早めにお飲みください。

長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分に乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

❗ 必ずおこなう

お手入れ方法






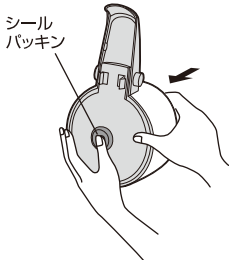
臭いや汚れを防ぎ、いつまでも清潔にご使用いただくために、ご使用後は必ずお手入れをしてください。

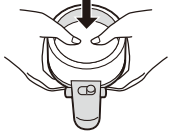

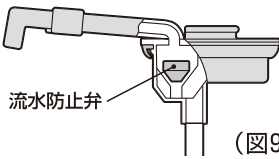


部品名	洗い方	お手入れ方法
中せん	<ul style="list-style-type: none"> ○ つけ洗い ○ 酸素系漂白剤 ✕ 塩素系漂白剤 	<p>きれいに洗い、中せんを数回振り、乾いた布で水分を十分に拭き取って、揚水パイプが下向きの状態で十分に乾燥させてください。</p> <p>お手入れの後は、パッキンを浮かないように正しい位置に確実に取り付けてください。正しく取り付けられていないと、漏れや作動不良の原因になります。【 図9】汚れが落ちない場合は、酸素系漂白剤(30分を目安に)をお使いください。</p> <p>揚水パイプ～注水パイプ間の内側を洗う場合</p> <p>本体内部にぬるま湯でうすめた食器用洗剤を入れ、中せんを取り付けた状態で、プッシュボタンを繰り返し押ししてください。洗い終わった後は、本体内部に湯を入れ、プッシュボタンを繰り返し押し、洗剤をよくすすいでください。</p>
本体	内側	<ul style="list-style-type: none"> ○ つけ洗い ○ 酸素系漂白剤 ✕ 塩素系漂白剤 <p>きれいに洗い、十分に乾燥させてください。</p> <p>汚れが落ちない場合は、酸素系漂白剤(30分を目安に)をお使いください。</p> <p>その際フタは取りはずしてください。</p> <p>本体の内圧が上がり、フタが飛び出すなど危険です。</p>
	外側	<ul style="list-style-type: none"> ○ 布で拭き取り ✕ 流水洗い ✕ つけ洗い ✕ 漂白剤 <p>ぬるま湯でうすめた食器用洗剤をやわらかい布に含ませ、かたくしぼって拭いた後、乾いた布で水分を十分に拭き取ってください。</p> <p>流水洗い・つけ洗いはおやめください。すきまに水が浸入して後から漏れて他のものを汚したり、サビの原因になったりします。</p>
フタ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 布で拭き取り ✕ 流水洗い ✕ つけ洗い ✕ 漂白剤 <p>ぬるま湯でうすめた食器用洗剤をやわらかい布に含ませ、かたくしぼって拭いた後、乾いた布で水分を十分に拭き取ってください。</p> <p>流水洗い・つけ洗いはおやめください。すきまに水が浸入して後から漏れて他のものを汚す原因になります。</p>	

食器洗浄機 食器乾燥機

プラスチック部品が変形することがありますので、使用しないでください。

●長期間ご使用にならないときは、きれいに洗って汚れを落とし、十分に乾燥させ、高温多湿の場所をさけて保管してください。

不具合	お確かめください	対処方法
飲みものが 出ない、 出にくい	中せんパッキンがはずれていたり、逆向きに取り付けられたりしていませんか	中せんパッキンは浮かないように正しい位置に確実に取り付けてください。【  図9】
	中せんやフタは消耗していませんか	別売の交換用部品をお買い求めください。【  P.10】
	中せん、揚水パイプ、注水パイプが破損したり、つまったりしていませんか	つまっている場合は取り除いてください。破損している場合は別売の交換用部品をお買い求めください。【  P.10】
	中せんは正しく取り付けられていますか	中せんは正しい位置に取り付けてください。【  図4】
	フタは確実に閉めていますか	フタは“カチッ”と音がするまで押して確実に閉めてください。
	フタの中のペローズが破損していませんか	破損している場合は別売の交換用部品をお買い求めください。【  P.10】
	<p>〈ペローズの破損の確認方法〉</p>  <p>※シールパッキンを指で押さえ、プッシュボタンを押し、最後まで押し込めるようでしたらペローズが破損しています。</p>	
	プッシュボタンを勢いよく押し、安全機構が働いて飲みものが出なくなります。プッシュボタンからいったん手をはなして、もう一度ゆっくりプッシュボタンを押してください。	

不具合	お確かめください	対処方法
口がねに 水がたまる	フタに取り付けられたペローズの中に水がたまっていませんか	フタを図のように持ちプッシュボタンを数回押してペローズの中に入った水を抜いてください。 
	飲みものを入れすぎていませんか	飲みものは規定の量までにしてください。【  図3】
中せんから 音がする	カタカタという音ではないですか	横転時の流水を防ぐ弁によるもので、異常ではありません。  (図9の断面図)
	汚れてはいませんか	酸素系漂白剤をお使いください。【  P.7】
本体内側が 変色した	斑点状の赤いさびではないですか	水に含まれる鉄分などが付着したものです。食酢を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、約30分後によく洗ってください。
	ザラザラしたものではないですか	水に含まれるカルシウムなどが付着したものです。クエン酸を10%程度入れたぬるま湯を本体に入れ、中せんを付けずに約3時間後によく洗ってください。
保温(保冷)が 効かない	十分に熱い(冷たい)飲みものを入れていますが	熱い(冷たい)飲みものを入れてください。またあらかじめ本体内側を予熱(予冷)しておく効果的です。
	飲みものの量が少なくないですか	飲みものの量を多くすると効果的です。
異臭がする	本体内側や中せんに汚れが付着していませんか	ご使用後はきれいに洗い、十分に乾燥させてください。異臭が取れない場合は酸素系漂白剤をお使いください。【  P.7】

◆上記のいずれの項目にもあてはまらない場合はお客様相談室にご相談ください。【 P.10】